授業科目名・形態	保健医療論　　講義	必修・選択の別	選択	単位数	2
科目担当者氏名	平林朋子	実務経験の有無	有	開講期	3 年前期
科目ナンバリング	W4-3015s(c) R				

【授業の主題】

本講義では、保健医療領域におけるソーシャルワーク業務で必要とされる、基礎的概念を習得し、制度・サービスの在り方を理解できることを主題とし、事例などを通し、実際の運用も学んでいく。

【到達目標】

1.ソーシャルワーク実践に必要な保健医療領域の動向を理解する。
2.保健医療領域の政策・制度・サービスを理解する。
3.保健医療領域の社会福祉士の業務を理解する。

【授業計画・内容】

第 1 回　オリエンテーション
第 2 回　病者の理解　家族の理解
第 3 回　患者の権利
第 4 回　医療倫理と倫理的課題
第 5 回　患者の意思決定をめぐる課題
第 6 回　疾病構造の変化　入院医療から在宅医療/病院完結型医療から地域完結型医療へ
第 7 回　保健医療における福祉的課題
第 8 回　保健医療の政策・制度　保健医療サービスの提供体制
第 9 回　医療費の保障　その他の政策・制度
第 10 回　保健医療領域における専門職と院内連携　地域の関係機関との連携の実際
第 11 回　医療機関におけるソーシャルワーク部門の体制構築　保健医療領域におけるソーシャルワーカーの役割
第 12 回　保健医療領域における支援の実際①
第 13 回　保健医療領域における支援の実際②
第 14 回　保健医療領域における支援の実際③
第 15 回　保健医療領域における支援の実際④　まとめ

【授業実施方法】

講義形式で実施し、適宜、ロールプレイ等の講義も行う。講義の最後に「リアクションペーパー」を作成し、提出する。

【事前・事後学習】

・教科書の講義内容に関する部分を読み、不明点を調べる等、事前学習を 2 時間以上行うこと
・講義内容を踏まえ、復習・考えの整理を毎回 2 時間以上行うこと。

【主な関連する科目】

「社会福祉概論Ⅰ」「社会福祉概論Ⅱ」「社会福祉概論Ⅰ」「社会福祉概論Ⅱ」

【教科書等】

日本ソーシャルワーク教育学校連盟編集『保健医療と福祉』中央法規、2025 年

【参考文献】

講義内で都度紹介する。

【成績評価方法】

筆記試験　80%　リアクションペーパー　15%　講義への取り組み　5%

【実務経験及び実務を活かした授業内容】

医療ソーシャルワーカーとして医療現場で働いてきた経験を生かし、現実に即した支援方法について、実例を交えながら伝えていく。

【学生へのメッセージ】

保健医療領域は社会福祉領域とは異なる倫理がある職域です。その中で何故、社会福祉の専門職が必要とされるのか、私たちはソーシャルワーカーとしてどの様に働いていくべきなのか、一緒に考えていきましょう。